

2026年度研究助成 贈呈式の様子

2026年2月28日(土) 於 都内

当日は贈呈書授与、特別研究被助成者等による成果報告発表、情報交換会を行いました。



当財団ホームページにて、右記の方法でご応募下さい

中谷財団のホームページ

<https://www.nakatani-foundation.jp>



応募方法 How to apply

- 1 各助成のページをご覧のうえ、「募集要領」をダウンロードし内容を確認
- 2 「マイページ」よりログインし、申請書類をダウンロード
※初めての方は登録を行い、ID・パスワードを取得して下さい。
- 3 書類作成後に所定のファイル形式でアップロード
※募集要項などの詳細については各助成のWebページをご覧ください。

※その他、若手を対象とした助成事業もございます。是非、財団ホームページより検索ください。

交流助成 国際学会参加、研究者招聘、留学への助成

大学院奨学金 返済の必要のない給付型奨学金

2027年度研究助成

募集開始



開発研究助成が増額！そして2年間に。

特別研究助成

開発研究助成

奨励研究助成

調査研究助成

特別研究助成

1件



基盤となる開発研究を一層発展させることにより、卓越した成果が期待でき、かつ、実用化が見込まれる研究成果の創出に資する研究に対して行う助成です。

募集期間 2026年 **6月1日**～**7月7日**

助成金額 2年間で最大 **3,000** 万円
年間最大2,000万円の助成可

応募資格 **・日本国内**の大学およびこれに準ずる研究機関に属する者
・募集翌年の2027年3月末日時点で日本国内の研究機関に所属していること。

助成開始 2027年 **4月**～

注意事項 **・理由記載の推薦書**が必要です。
(推薦者は所属機関長に限りません。)
・1推薦者から1件に限ります。

開発研究助成

20件前後



独創的な発想に基づく研究であって、実用化が期待できる技術の開発または実用化に寄与することが期待できる研究に対して行う助成です。

募集期間 2026年 **6月1日**～**7月7日**

助成金額 2年間で最大 **600** 万円

応募資格 **・日本国内**の大学およびこれに準ずる研究機関に属する者
・募集翌年の2027年3月末日時点で日本国内の研究機関に所属していること。

助成開始 2027年 **4月**～

注意事項 応募にあたっては、所属機関長の承諾書が必要です。
(所属機関長は、大学長、研究所長、病院長、学部長、研究科長、専攻長、学科長、およびそれに相当する職域の長であること。)



2027年度

研究助成

募集について

対象分野において基盤となる研究開発から、実用化が期待できる技術の開発、さらに若手研究者の独創的な技術研究等、可能性をより発展させる研究および研究者に対して広く助成を行っています。

助成対象分野

BME(Bio Medical Engineering)分野 ～生命科学と理工学の融合境界領域～

■医療や人々の健康に貢献しうる独創的でイノベティブなアプローチをおこなう研究を対象とします。

■BMEを補足する言葉として、「生命科学と理工学の融合境界領域」と付記しました。
生物学、医学等を生命科学とし、物理学や化学等の応用を工学としたうえで数学やAIなど情報科学も含むことを明確にする意味で工に理を加えて理工学とし、それらが連携した研究領域が対象であることを示す融合境界領域という言葉で表現しました。

■医療の発展や健康の増進を見据えた幅広い研究分野において、基礎から応用まで広く対象とします。

長期大型研究助成

1件



長期大型研究助成は、国内外の人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により、将来的に新しい技術や学術・応用分野を拓くための基盤を生み出すとともに次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成に資することを目的に、最長5年間で総額3億円を助成するものです。

募集期間 **今年度の募集はありません。**
次回の募集開始は2027年6月頃です。



奨励研究助成

30件前後



若手研究者の育成を目的とし、独創的な発想に基づく夢のある研究であって、将来の実用化に向けた基盤技術として期待される研究に対して行う助成です。

募集期間 2026年 **6月1日**～**7月7日**

助成金額 2年間で最大 **300** 万円

応募資格 **・日本国内**の大学およびこれに準ずる研究機関に属する者
・募集翌年の2027年3月末日時点で日本国内の研究機関に所属していること。
・募集翌年の2027年3月末日時点で40歳未満の者

助成開始 2027年 **4月**～

注意事項 応募にあたっては、所属機関長の承諾書が必要です。
(所属機関長は、大学長、研究所長、病院長、学部長、研究科長、専攻長、学科長、およびそれに相当する職域の長であること。)

調査研究助成

3件前後



対象分野において基礎医学または臨床医学における計測技術(解析技術も含む)の有用性、活用状況、必要性(ニーズ)、可能性(シーズ)、研究動向などの調査研究に対して行う助成です。

募集期間 2026年 **6月1日**～**7月7日**

助成金額 2年間で最大 **300** 万円

応募資格 **・日本国内**の大学およびこれに準ずる研究機関に属する者
・募集翌年の2027年3月末日時点で日本国内の研究機関に所属していること。

助成開始 2027年 **4月**～

研究体制 国内外を問わず、複数の研究機関または幅広い専門分野や地域の研究者が参加する体制とする。
(ただし、単独での実施が可能な場合も申請可とする。)

手法例 実態調査(フィールド調査など)、追跡調査(コホート研究など)、統計解析など